

中国やヨーロッパ、さらには韓国、シンガポール等のアジア各国に加えて米国の電子商取引（e-Business）に関する標準化組織が一同に介し、グローバル標準を考える、これまでにない規模と情報を入手できる、充実の“2日間”

“

（中日国際共同フォーラム）

“China-Japan International Joint Forum”
&
“OASIS OPEN STANDARDS DAYS TOKYO 2004”
企画書

2004.6.15 (Tue) ~ 6.16 (Wed)

三菱自動車 ダイアモンドホール（品川）

主催（東京会場）



（中国標準化研究院）



（東アジア電子商取引協会）



（米国オアシス）

特定非営利活動法人
東アジア電子商取引協会

CJLJF & OASIS OPEN STANDARDS DAYS の企画にあたって

ブロードバンドネットワークの社会インフラ整備の進行にあいまって、“EC”いわゆる電子商取引の発展は目覚ましいものがあります。各種調査機関の報告をかりまでもなく、電子商取引は今後も加速度的な拡大、発展をとげることが予測されていますが、昨今の傾向ではこれらは単に電子的市場での商品の取引高の拡大をしめすのではなく、それに付随する様々なプロセス、ビジネス要望の実現までをも含んだ“e-Business”全体市場としてとらえる必要があります。従来“プロキュアメント（調達）”という言葉は「物を購入する」ことを意味していましたが、“e-Procurement（電子調達）”という言葉の普及とともに「入札（ソーシング）契約、発注、物流、納品、請求、支払・決済」などのすべての行為（サイクル）を含めるようになり、それらのサイクルの中で、認証や署名などのセキュリティからトレーサビリティ、購買分析や評価システム、さらには文書保管などまでもが、市場要素として取り上げられています。このような市場環境の変化、拡大は新たなビジネスの掘り起こしや、経済環境の活性化につながると期待がされる一方で急激な市場の発展・変化は参入しようとする企業や個人に新たな障壁を発生させていることも事実です。企業や産業界がこぞってECに進出したことにより、複数の互換性のない標準と呼ばれる規格が生まれ、さらにインターネットが距離や時間の壁を取り外したことで、全産業的、全地球的な規模での競合が生まれています。このことは、資金力や技術力の弱い中堅、中小企業にとっては「EC市場の発展＝ビジネス障壁の拡大＝参入リスク・負荷の拡大」ともなっており、本来“e-Business”がもたらすべきメリットを享受できず、かえって負担となっているともいえます。またこのようなEC市場、e-Business市場での規格、標準が欧米中心に開発されてきたため、日本やアジアの商習慣や文化にあわない要素も多々あり、これらはひいては国内企業の国際競争力の減衰にもつながりかねません。日本の経済基盤をささえる中堅、中小企業が益々発展する電子商取引市場に容易に参入でき、それぞれの企業活動を活性化させるためには従来のような狭い視野ではなく、グローバルでオープンな視点にたった市場動向の把握と迅速な対応や判断が重要になります。さらにはアジア圏のアイデンティティをグローバル市場の中で確保することは国内企業の国際競争力を向上させる一助にもなると考えます。

このような中であって、東アジア電子商取引協会（EA-ECA）は昨年12月に中国の国家標準化機関である「中国標準化研究院（CNIS）」をはじめとした複数の組織とそれぞれ電子商取引の基盤整備に関する合意書を締結しました。これは相互協力により、より早く、より効率的で効果的な電子商取引市場の発展をはかるためのものです。この合意をうけてEA-ECAとCNISはグローバル・スタンダードという言葉に代表される電子商取引の基準や欧米組織の取り組み方をそれぞれの国において紹介し、理解を深める「国際合同セミナー」を共同で開催することを企画しました。また日本での開催においては“e-Business”の標準開発で世界をリードしている米国のOASISの活動や成果を具体的に紹介する「OASIS OPEN STANDARDS DAYS TOKYO 2004」も同時開催することとし、世界の最新の取り組みをセミナーとパネルディスカッションで紹介することとしました。

米国からはOASIS、ヨーロッパからはCEN、中国からはCNISやCASと、それぞれを代表する標準化機関が一同に会し、これからの電子商取引市場の発展に少しでも貢献できる情報提供ができればと考えております。もちろん日本からも様々な企業がその取り組みを発表するとともに、e-Japan戦略に代表される日本としての取り組み状況も紹介させていただく予定です。このセミナーが電子商取引市場や“e-Business”のさらなる加速のきっかけになれば幸いです。

（主催者）

【開催概要】

- 1：名称 China-Japan International Joint Forum (CJLJF)
& OASIS OPEN STANDARDS DAYS TOKYO 2004 (OOSD)
- 2：テーマ アジア電子商取引市場の活性化に向けた “ Global Standard ” への取り組み
- 3：日程 2004年6月15日(火)～16日(水) 東京会場
6月18日(金) 北京会場
- 4：会場 三菱自動車 ダイアモンドホール、及びダイヤモンドプラザ (品川区)
- 5：概要
初日テーマ：グローバルスタンダードと世界の動き (CJLJF)
2日目テーマ：具体化する“e-Business ソリューション” (OOSD)
基調講演とパネルディスカッション、及びワークショップ形式
- 基調講演
・ 中国、日本における電子商取引と国際標準への取り組み、および米国、ヨーロッパの国際標準化組織の講師による国際標準の最新動向
- パネルディスカッション
・ 国際標準に関する、中日欧米の有識者によるパネルディスカッション
・ 中日の有識者による、アジア商圏の活性化、国際化への取り組み
- ワークショップ
・ 主として、OASIS OPEN STANDARDS DAYS として実施
・ スポンサーセッションによる国内の具体的ソリューション例
- 6：主催(東京) 東アジア電子商取引協会 (EA-ECA)
中国標準化研究院 (CNIS)
OASIS (米国)
- 7：後援(東京) 総務省 (予定)
経済産業省 (予定)
中国標準化協会 (CAS)
European Committee for Standardisation (CEN)
韓国 ECIF、香港 CECID、シンガポール (FWSI - TC)
XML コンソーシアム(予定)、RosettaNet Japan(予定)、XBRL Japan (予定)
HR-XML consortium Japan(予定)、他を計画
- 8：協賛 スポンサー募集項目をご参照ください。
- 9：参加対象 アジアビジネスに関心のある企業の関係者、IT 関連企業、電子商取引、電子政府、電子調達に興味や関係のある企業、個人、その他全般
2日間で、1000名の集客を予定
- 10：費用 2日間の通し券 一般：¥10,000 OASIS/EA-ECA 会員 ¥6,000
(懇親会を含む)

【Agenda】

6月15日(火) “世界がみえる、アジアが見える、日本が見える”

時間	講師、及び講演タイトル	同時通訳
09:00～	受付開始	
09:30～09:45	来賓ご挨拶	中国語／英語
09:45～10:15	基調講演 「e-Japan 戦略と国際標準（仮題）」 内閣府 （予定）	中国語／英語
10:15～10:45	基調講演 「電子政府における公共調達と国際標準（仮題）」 総務省 （予定）	中国語／英語
10:45～11:15	基調講演 「タイトル未定」 経済産業省（予定）	中国語／英語
11:15～11:45	基調講演 「OASIS の国際標準化活動」（仮題） 米国 OASIS CEO Mr. Patrick Gannon	中国語／英語
11:45～	（昼食休憩）	
11:50～12:50	（ランチセッション）	逐次通訳
13:00～13:30	基調講演 「中国電子商取引市場と国際標準への取り組み（仮題）」 中国標準化研究院 副院長 Mr.Fang Qing	中国語／英語
13:30～14:00	基調講演 「タイトル未定」 中国標準化協会 副院長 Mr.Zhiweu Zhang	中国語／英語
14:00～14:30	基調講演 「e-Europe における標準化（仮題）」 CEN Director Mr. John Kechell	中国語／英語
14:30～15:00	基調講演 「タイトル未定」 CEN ePDC project leader Mr. Raymond Betz	中国語／英語
15:00～15:15	（コーヒープレイク）	
15:15～16:15	パネルディスカッション 「国際標準と EC の未来（仮題）」 ・ モデレータ 大原 伸一(EA-ECA：予定) ・ パネラー UBL JPLSC 議長 Mr. Noboru Itoh ・ パネラー 中国標準化研究院 Mr. Liu Bisong ・ パネラー OASIS Mr. Patrick Gannon ・ パネラー CEN / ISO Mr. Christian Galinski	中国語／英語
16:30～17:30	パネルディスカッション 「アジアの電子商取引市場（仮題）」 ・ モデレータ 岡部 恵造 (OASIS 日本代表) ・ パネラー EA-ECA 小河原 茂（予定） ・ パネラー 中国標準化協会 （予定） ・ パネラー 香港 CECID （予定） ・ パネラー 韓国 ECIF （予定） ・ パネラー シンガポール FWSI （予定）	中国語／英語
17:30	第一部 終了	
17:30～19:00	懇親会 ・ ご挨拶 EA-ECA 理事長 合庭 惇 ・ ご挨拶（乾杯） 中国標準化研究院（予定） 各国標準化組織の代表者や講師の方々との会話をお楽しみ下さい。	逐次通訳

上記の各セッションの定員は500名です。

ランチセッションは昼食をとりながら、各国の講師の方々と意見交換をします。

【Agenda】

6月16日(水) “OASIS OPEN STANDARDS DAYS TOKYO 2004”

時間	Track1	Track2	Track3
09:00 ~	2日目、受付		
09:30 ~ 10:00	基調講演 「ebXMLのアジアにおける取り組み」(仮題) 講師未定		
10:00 ~ 10:30	基調講演 「いよいよ始まった、UBL1.0の実装」 講師未定		
10:30 ~ 11:00	基調講演 「韓国の電子商取引市場と標準化(仮題)」 韓国 ECIF (予定)		
11:00 ~ 11:30	基調講演 「Web サービスを現実化する FWSI の活動(仮題)」 シンガポール FWSI-TC		
11:30 ~ 12:00	基調講演 「タイトル未定」 香港 CECID		
12:00 ~ 13:00	(昼食休憩)		
13:00 ~ 14:00	スポンサーセッション A 「タイトル未定」	スポンサーセッション E 「タイトル未定」	スポンサーセッション I 「タイトル未定」
14:00 ~ 15:00	スポンサーセッション B 「タイトル未定」	スポンサーセッション F 「タイトル未定」	スポンサーセッション J 「タイトル未定」
15:00 ~ 16:00	スポンサーセッション C 「タイトル未定」	スポンサーセッション G 「タイトル未定」	スポンサーセッション K 「タイトル未定」
16:00 ~ 17:00	スポンサーセッション D 「タイトル未定」	スポンサーセッション H 「タイトル未定」	スポンサーセッション L 「タイトル未定」
17:00	終了		

2日間の開催期間中のプレス対応(取材等)は別途、計画します。

共通セッションの定員は500名です。

スポンサーセッションの定員は200名です。

開催内容、講師等は都合により予告なく変更されることがあります。

【講師紹介】

Mr. Fang Qing

中国標準化研究院（CNIS） 副院長
（プロフィール準備中）

Mr. Liu Bisong

中国標準化研究院（CNIS） 書記長
（プロフィール準備中）

Mr. Zhiwen Zhang

中国標準化協会（CAS） 副院長
RosettaNet China 議長、中国科学技術院教授
（プロフィール準備中）

Mr. Patrick Gannon

米国 OASIS CEO & President
（プロフィール準備中）

Mr. John Ketchell

Director CEN Workshop
（プロフィール準備中）

Mr. Raymond Betz

SOLVAY e-Business Data manager、ePDC Project Leader
CEN Workshop co-chairman
（プロフィール準備中）

Mr. Christian Galinski

Termnet Executive Secretary
Secretary ISO TC37
（プロフィール準備中）

韓国 ECIF（講師未定）

（プロフィール準備中）

シンガポール FWSI（講師未定）

（プロフィール準備中）

香港 CECID（講師未定）

（プロフィール準備中）

UBL（講師未定）

（プロフィール準備中）

【主催団体について】

東アジア電子商取引協会（EA-ECA）

EA-ECA は 2003 年 4 月に特定非営利活動法人（NPO 法人）として認可された東アジアの電子商取引の基盤整備を目的とした組織です。日本の 6 つの省庁からアドバイザを迎えて、日本やアジアの電子商取引の活性化のためにグローバル標準のローカライズや教育、啓蒙などを行っています。今回の共同主催者である中国標準化研究院や中国標準化協会などと協業でアジアにおける電子商取引の基準づくりをグローバルな視点から行なっています。また PanEurop プログラムのひとつである SME 向けの電子商取引のトレーニングプログラム “eQU@L” のローカライズと、その実施を CNIS とともにアジア地域で行う契約を CEN 事務局の Termnet と交わしており、アジアの本格的な電子商取引市場の拡大をはかっています。

中国標準化研究院（CNIS）

中国は標準化開発と推進は次のような組織で構成されています。



CNIS は “ (China National Institute of Standardization) ” の略で国家品質監督檢驗檢疫總局の直属の事業機構である。専門的に標準化の理論と方法、標準化の基礎と応用技術の研究を担当する国家級の科学研究センターです。標準化の研究以外に、全国組織機構のコード登録管理、全国商品バーコードの登記管理、全国工業製品及省エネ製品認証などの標準化の管理と対外的なサービスの業務も担当しています。中国標準研究院の主な任務は、標準研究、品質研究、標準管理、標準品質情報管理とサービス、生産許可証の審査、品質認証と全国商品バーコードの管理など多岐にわたっています。また全国の品質管理と品質保証標準化技術委員会などの 10 の全国專業標準化委員会の事務局の管理の仕事も担当しており、多数の国際標準化機構と合作関係を有しています。傘下に ANCC (Article Number Center of China) などがあり、ANCC は “ EAN China ” でもあります。

中国標準化協会（CAS）

CAS は “ China Association for Standardization ” の略で、中国標準化の関係者の学術的な団体です。中国科学技術協会のメンバー機構であり、中国標準協と略称されます。業務主管は国家品質監督檢驗檢疫總局です。1978 年 9 月に正式に設立された組織で、昨年には RosettaNet China の立ち上げの中心組織にもなっています。

O A S I S “ Organization for the Advancement of Structured Information Standards ”

OASIS はビジネスにおける情報交換用技術標準を策定する国際的な非営利組織で、本部を米国マサチューセッツ州ボストン郊外のビルリカ (Billerica) に置き活動しています。会員は世界 100 ヶ国以上に 600 を超える企業会員と 25000 人の個人会員がいます。

設立の母体は 1993 年にデジタル文書技術のグローバル標準として策定された SGML の標準化規格の開発を目的に設立された「SGML Open」です。その後 SGML 規格をもとに XML 規格が策定されたことにより、1998 年から OASIS と名称を変更しました。現在でも SGML に関する標準規格、技術の管理と公開を行っています。

インターネット上の標準化団体としては W3C (World Wide Web Consortium) もありますが、W3C は XML や HTML のような Web に関する基礎技術を扱い、OASIS はその上位のアプリケーション寄りの標準を扱っています。セキュリティ、Web サービス、ビジネストランザクション、電子出版などが市場の中で、あるいは市場間で相互運用ができるような開発 (標準化) を行っています。また OASIS は国連 (UN/CEFACT) と共同で ebXML や e ビジネスのグローバルフレームワークの開発と推進を行っており、XML のスキーマや XML アプリケーションの関連情報を提供する “XML.org” を運営しています。

さらに OASIS は別個の動きであった、UDDI, CGM, LegalXML 及び情報セキュリティにおける重要な社会インフラである PKI (Public Key Infrastructure) の標準化活動を OASIS に統合しました。また OASIS や ISO, IEC, ITU, UN/ECE と標準化開発活動の関する覚書を交わして協業をはかっており、その他の標準化団体 (例えばロゼッタネット) との協業活動を行っています。

C E N (European Committee for Standardisation) “ CEN/ISSS ”

CEN/ISSS は、ヨーロッパの情報社会の成功に貢献するために製品やサービスの包括的で統合された標準化活動を供給します。CEN/ISSS は、その ICT (情報および Communications テクノロジーズ) 活動を焦点として CEN (標準化のヨーロッパの委員会) によって 1997 年に設立されました。ISSS (Information Society Standardisation System : 情報社会標準化システム) はオープンで市場ニーズに適業した標準化プロセスを公開、提供しています。また従来からの標準規格や非公式な規格などのそれぞれを迅速にかつセキュリティを保って、評価、開発することで、市場のギャップをうめ、統合された標準として公開します。CEN/ISSS ワークショップは標準化プロセスへの様々な企業や個人の直接参加のために機会を提示します。それらはベンダー、サービス・プロバイダー、ユーザおよび消費者グループを含むすべての利害関係者に開放されており、CEN/ISSS ワークショップは、ヨーロッパの統一された標準開発、公開することを目標としています。CEN/ISSS は、さらに、公益の特別のエリアの現在の標準環境について報告するために、標準活動の中で、“今後の推奨規格” を提供する目的で、フォーカスグループを実行しています。

【【参加申し込み、および参加費用】】

2日間通し券（懇親会参加費用を含む）

一般： ￥10,000.-

OASIS 会員、または EA-ECA 会員： ￥6,000.-

なお、お申し込みは FAX または Web を予定しています。
参加費用のお支払いは Web 掲載、および請求・振込みを予定しています。

【事務局、その他】

問い合わせ先：

株式会社イーブリッジ 担当：寺嶋、酒井

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿1-19-19 恵比寿ビジネスタワー 13F

電話：03-4360-4010（OASIS イベントについてとお問い合わせください）

eMail：oasis_days@sunbridge.com

東アジア電子商取引協会 担当：箕浦

〒104-0041

東京都中央区新富1-4-1 シンメイ新富町ビル802

電話：03-3523-2808

eMail：CJLJF@ea-eca.org

公式ホームページ：<http://www.ea-eca.org/CJLJF/forum.html>（4月中旬 Open 予定）

スポンサー募集について】

東京会場におけるスポンサーを次のとおり、募集します。

プラチナ・スポンサー 3社 協賛費用 ￥2,000,000

- ・ 大きなロゴをすべての露出物に掲示
- ・ スポンサーセッション 1枠を提供
- ・ ランチセッションへの参加 (2名)
- ・ セミナー無料参加 10名
- ・ 懇親会 無料参加 5名
- ・ 開催報告書

ゴールド・スポンサー 9社 協賛費用 ￥1,000,000

- ・ 中サイズのロゴをすべての露出物に掲示
- ・ スポンサーセッション 1枠を提供
- ・ セミナー 無料参加 5名
- ・ 懇親会 無料参加 2名
- ・ 開催報告書

シルバー・スポンサー 10社 協賛費用 ￥200,000

- ・ 小さいロゴで一般配布物、KeyNote 配布物、および大きな看板に掲示
- ・ セミナー 無料参加 2名
- ・ 懇親会 無料参加 2名
- ・ 開催報告書

スポンサー企業の募集（お申し込み）は原則として、4月末までとさせていただきます。

このスポンサーの対象範囲は東京会場のみです。

北京会場に関しましては別途、中国標準化研究院が中心で、中国国内企業および中国政府による開催を予定しています。

2日間の開催期間中の来場は1000名の予定です。（各日500名）

主な配布物、広告物

1. CJLJF & OOSD 開催射案内
 - A4 版 4 ページ
 - 3,000 部配布予定
 - プレスカンファレンスでの配布及び告知を予定 (4/19)
2. Web 告知
 - CJLJF & OOSD 公式ページを開設
 - 様々なメディアを通じて、告知
 - プレスカンファレンスでの案内を予定 (4/19)
 - 関連団体へのリンクを計画
3. CJLJF & OOSD 総合ガイドブック
 - 来場者配布
 - A4 版 12 ページ前後
4. プレゼンテーション集
 - 講師のプレゼンテーション印刷
 - A4 版
5. 会場案内、大看板
 - 当日
6. プレゼンテーションファイル
 - 使用するすべてのプレゼンテーションファイルに表紙を統一
7. 開催報告書
 - 開催報告書 (スポンサー及び後援団体に配布)
8. 出版物
 - 後日、セミナー内容ととりまとめた出版を計画
9. その他の配布物、広告告知物

ランチセッション (6月15日 11:50 ~ 12:50) について

米国、ヨーロッパ、中国、韓国、シンガポールなど各国の講師と昼食をとりながら意見交換を行っていただきます。

また、昼食を取りながらになりますが、スポンサー企業のプレゼンテーションを次のように実施します。

11:50	テーブル着席
11:50 ~ 11:51	主催者挨拶
11:51 ~	それぞれのテーブルで昼食
12:00 ~ 12:10	プラチナ・スポンサー企業 (1) プレゼンテーション
12:15 ~ 12:25	プラチナ・スポンサー企業 (2) プレゼンテーション
12:30 ~ 12:40	プラチナ・スポンサー企業 (3) プレゼンテーション
~ 12:50	解散

これら以外にもスポンサー特典を準備中です。

詳しくは事務局までお問い合わせください。

China-Japan International Joint Forum & OASIS OPEN STANDARDS DAYS Tokyo 2004

スポンサー申し込み書

-以下のとおり、「CJLJF&OOSD」のスポンサーとして申し込みをします。

1：スポンサー種別（当該項目に○を記入してください。）

プラチナ・スポンサー	(¥2,000,000.-)	
ゴールド・スポンサー	(¥1,000,000.-)	
シルバー・スポンサー	(¥200,000.-)	

2：お申し込み会社名

3：お申し込み責任者、及びご連絡担当者様

ご連絡担当者：

4：ご連絡先

住所：

電話番号 / Fax 番号

Email アドレス：

5：請求書等の送付先

住所：

宛先名称：

請求書の項目は「CJLJF&OOSD 協賛費用」となります。

特別なご指定もしくは要望がある場合は、事務局にご連絡ください。

FAX 送信先：CJLJF スポンサー係り

03 - 3523 - 2820

eMail：準備中